

労働力調査（基本集計）

2024年（令和6年）2月分

結果の概要

【就業者】

- ・就業者数は6728万人。前年同月に比べ61万人の増加。19か月連続の増加
- ・雇用者数は6088万人。前年同月に比べ76万人の増加。24か月連続の増加
- ・正規の職員・従業員数は3617万人。前年同月に比べ49万人の増加。4か月連続の増加。
非正規の職員・従業員数は2134万人。前年同月に比べ32万人の増加。6か月連続の増加
- ・主な産業別就業者を前年同月と比べると、「製造業」、「情報通信業」、「教育、学習支援業」などが増加

【就業率】（就業者／15歳以上人口×100）

- ・就業率は61.2%。前年同月に比べ0.7ポイントの上昇
- ・15～64歳の就業率は78.6%。前年同月に比べ0.7ポイントの上昇

【完全失業者】

- ・完全失業者数は177万人。前年同月に比べ3万人の増加。3か月ぶりの増加
- ・求職理由別に前年同月と比べると、「勤め先や事業の都合による離職」が3万人の減少。
「自発的な離職（自己都合）」が2万人の増加。
「新たに求職」が2万人の増加

【完全失業率】（完全失業者／労働力人口×100）

- ・完全失業率（季節調整値）は2.6%。
前月に比べ0.2ポイントの上昇

【非労働力人口】

- ・非労働力人口は4082万人。前年同月に比べ81万人の減少。24か月連続の減少

原数値	実数 (万人、%)	対前年同月増減 (万人、ポイント)			
		2月	1月	12月	11月
15歳以上人口	10994	-18	-29	-32	-26
労働力人口	6905	65	23	35	60
就業者	6728	61	25	38	56
男	3683	15	-4	-6	13
女	3045	46	29	44	42
自営業主・家族従業者	608	-14	-17	-17	4
雇用者	6088	76	42	59	47
役員を除く雇用者	5751	81	44	61	52
正規の職員・従業員	3617	49	31	21	23
非正規の職員・従業員	2134	32	13	39	30
農業、林業	159	-22	-17	-15	3
建設業	480	-31	-1	8	-15
製造業	1066	25	16	28	33
情報通信業	285	23	25	19	10
運輸業、郵便業	348	-7	-9	-8	-5
卸売業、小売業	1021	6	-11	-3	-7
金融業、保険業	159	3	-4	-24	-14
不動産業、物品賃貸業	134	-14	3	12	1
学術研究、専門・技術サービス業	262	7	4	-1	1
宿泊業、飲食サービス業	400	12	22	21	20
生活関連サービス業、娯楽業	220	6	13	5	-3
教育、学習支援業	356	19	13	13	-7
医療、福祉	915	15	-18	2	22
サービス業(他に分類されないもの)	467	15	-12	-14	-4
就業率	61.2	0.7	0.4	0.5	0.7
うち15～64歳	78.6	0.7	0.5	1.0	1.1
男	84.0	0.5	0.3	0.5	0.7
女	73.0	0.9	0.7	1.5	1.4
うち20～69歳	80.6	0.9	0.6	0.8	1.0
完全失業者	177	3	-1	-2	4
理由別					
非自発的な離職	42	0	-6	-1	2
うち勤め先や事業の都合	23	-3	-8	-2	0
自発的な離職（自己都合）	74	2	5	5	4
新たに求職	49	2	0	-3	2
非労働力人口	4082	-81	-52	-69	-84

季節調整値	実数 (%)	対前月増減 (ポイント)			
		2月	1月	12月	11月
完全失業率	2.6	0.2	-0.1	0.0	0.0
男	2.7	0.2	-0.3	0.1	0.1
女	2.6	0.3	0.2	-0.3	-0.1

図1 就業者数の対前年同月増減と就業率の対前年同月ポイント差の推移

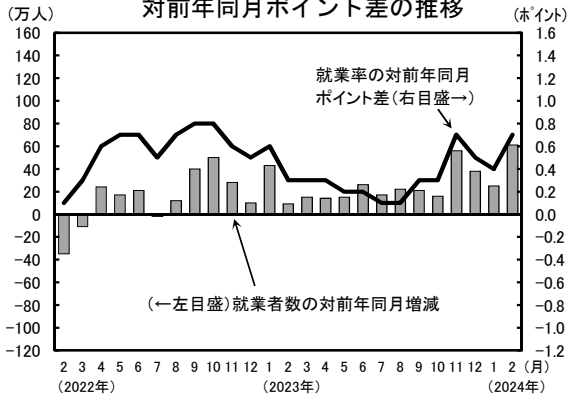
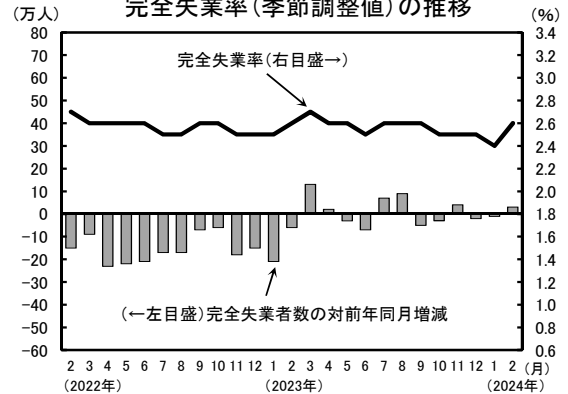


図2 完全失業者数の対前年同月増減と完全失業率（季節調整値）の推移



I 就業者の動向

1 男女別就業者数

- ・就業者数は6728万人。前年同月に比べ61万人(0.9%)の増加。19か月連続の増加。
男性は3683万人。15万人の増加。
女性は3045万人。46万人の増加

図3-1 就業者数の推移(男女計)

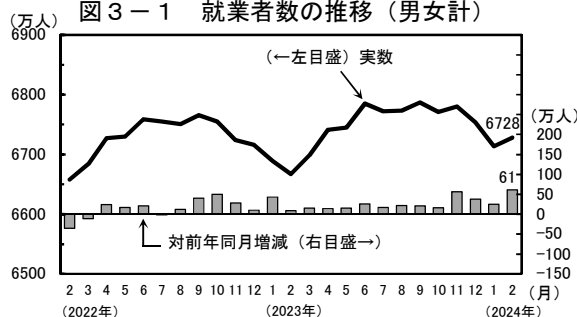
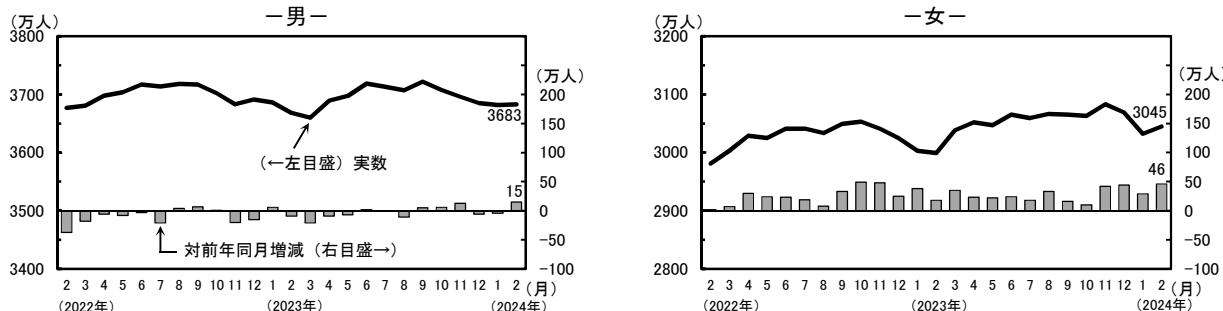


図3-2 就業者数の推移(男女別)



2 従業上の地位別就業者数

- ・自営業主・家族従業者数は608万人。前年同月に比べ14万人(2.3%)の減少
- ・雇用者数は6088万人。前年同月に比べ76万人(1.3%)の増加。24か月連続の増加。
男性は3293万人。32万人の増加。
女性は2795万人。44万人の増加

表1 従業上の地位別就業者数

	2024年 2月	
	実数	対前年 同月増減
就業者	6728	61
自営業主・家族従業者	608	-14
雇用者	6088	76
男	3293	32
女	2795	44

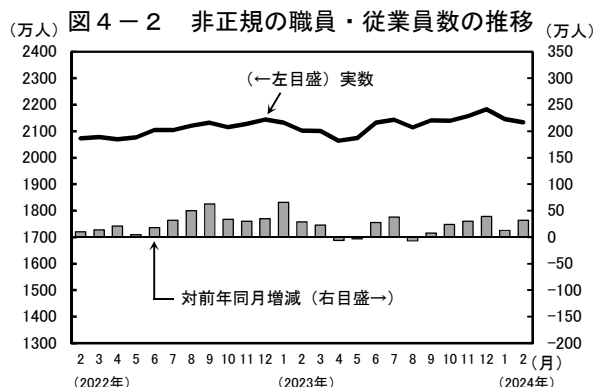
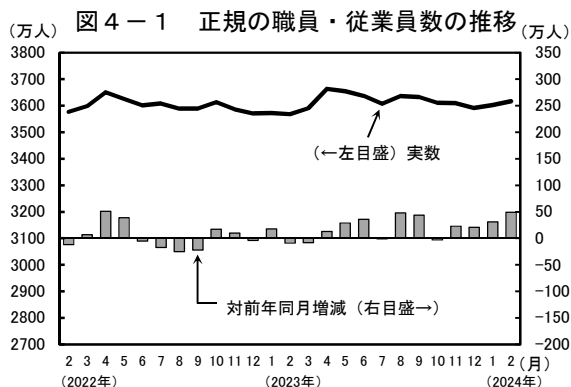
3 雇用形態別雇用者数

- ・正規の職員・従業員数は3617万人。前年同月に比べ49万人(1.4%)の増加。4か月連続の増加
- ・非正規の職員・従業員数は2134万人。前年同月に比べ32万人(1.5%)の増加。6か月連続の増加
- ・役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は37.1%。前年同月と同率

表2 雇用形態別雇用者数

2024年 2月	(万人、%)								
	男女計			男			女		
	実数	対前年 同月増減	割合	実数	対前年 同月増減	割合	実数	対前年 同月増減	割合
役員を除く雇用者	5751	81	-	3042	37	-	2709	45	-
正規の職員・従業員	3617	49	62.9	2338	7	76.9	1279	42	47.2
非正規の職員・従業員	2134	32	37.1	704	30	23.1	1430	3	52.8
パート	1035	2	18.0	140	14	4.6	895	-12	33.0
アルバイト	459	40	8.0	229	21	7.5	230	19	8.5
労働者派遣事業所の派遣社員	146	-8	2.5	59	2	1.9	87	-10	3.2
契約社員	284	-12	4.9	157	-6	5.2	127	-6	4.7
嘱託	112	-4	1.9	73	0	2.4	39	-4	1.4
その他	97	13	1.7	46	-2	1.5	51	14	1.9

注)割合は、「正規の職員・従業員」と「非正規の職員・従業員」の合計に占める割合を示す。



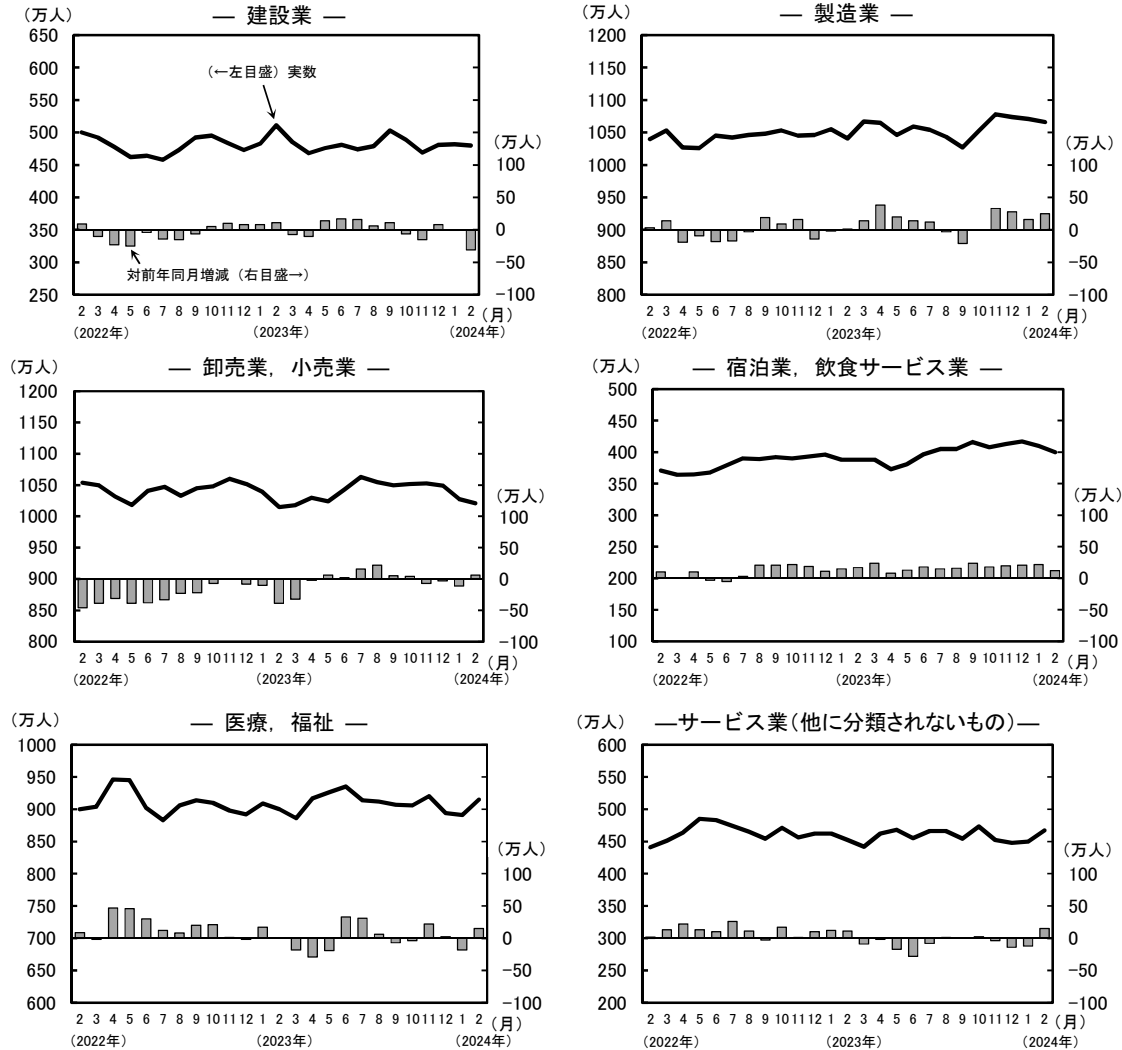
4 主な産業別就業者数

表3 主な産業別就業者数

(万人)

2024年 2月	農業、 林業	非農林業	建設業	製造業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産 業、物品 賃貸業	学術研究、 専門、 技術 サービス業	宿泊業、 飲食 サービス業	生活関連 サービス業、 娯楽業	教育、 学習 支援業	医療、 福祉	サービス業 (他に分類 されないもの)
実数	159	6569	480	1066	285	348	1021	159	134	262	400	220	356	915	467
対前年同月 増減	-22	83	-31	25	23	-7	6	3	-14	7	12	6	19	15	15
対前年同月 増減率(%)	-12.2	1.3	-6.1	2.4	8.8	-2.0	0.6	1.9	-9.5	2.7	3.1	2.8	5.6	1.7	3.3

図5 主な産業別就業者数の推移



5 就業者率

- ・ 就業者率(15歳以上人口に占める就業者の割合)は61.2%。前年同月に比べ0.7ポイントの上昇
- ・ 15～64歳の就業者率は78.6%。前年同月に比べ0.7ポイントの上昇。
男性は84.0%。0.5ポイントの上昇。女性は73.0%。0.9ポイントの上昇
- ・ 20～69歳の就業者率は80.6%。前年同月に比べ0.9ポイントの上昇

図6-1 就業者率(総数)及び
対前年同月ポイント差の推移

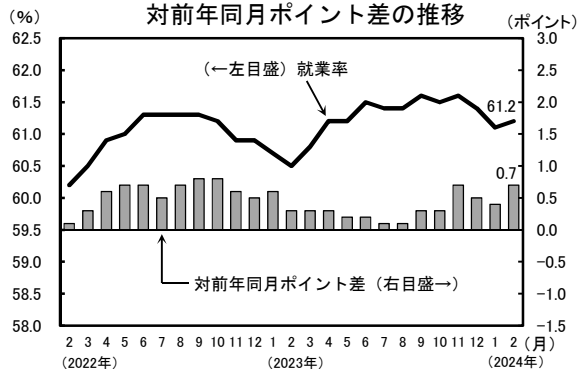
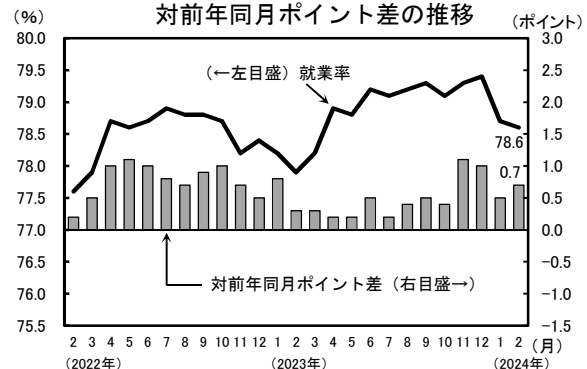


図6-2 就業者率(15～64歳)及び
対前年同月ポイント差の推移



II 完全失業者の動向

1 男女別完全失業者数

- 完全失業者数は177万人。前年同月に比べ3万人(1.7%)の増加。3か月ぶりの増加
- 男性は99万人。前年同月に比べ6万人の減少。女性は78万人。前年同月に比べ9万人の増加

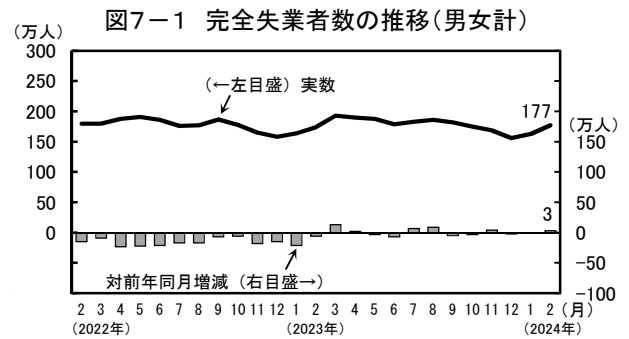
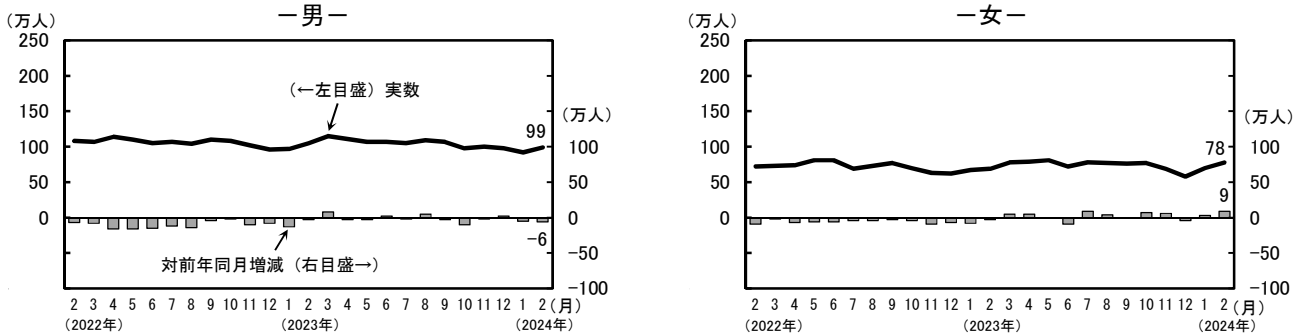


図7-2 完全失業者数の推移(男女別)



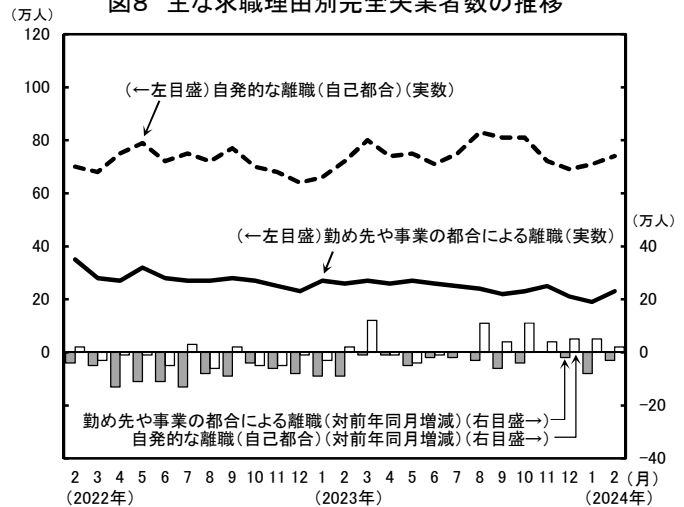
2 求職理由別完全失業者数

- 完全失業者のうち、「勤め先や事業の都合による離職」は23万人と、前年同月に比べ3万人の減少、「自発的な離職(自己都合)」は74万人と、前年同月に比べ2万人の増加、「新たに求職」は49万人と、前年同月に比べ2万人の増加

表4 求職理由別完全失業者数

2024年 2月	男女計 (万人)	
	実数	対前年同月増減
完全失業者	177	3
仕事をやめたため求職	116	2
非自発的な離職	42	0
定年又は雇用契約の満了による離職	18	2
勤め先や事業の都合による離職	23	-3
自発的な離職(自己都合)	74	2
新たに求職	49	2
学卒未就職	6	1
収入を得る必要が生じたから	26	2
その他	18	0

図8 主な求職理由別完全失業者数の推移



3 年齢階級別完全失業者数

- 男性の完全失業者数は、「15～24歳」、「25～34歳」及び「65歳以上」の年齢階級で、前年同月に比べ減少
- 女性の完全失業者数は、「25～34歳」、「35～44歳」及び「45～54歳」の年齢階級で、前年同月に比べ増加

表5 年齢階級別完全失業者数

2024年 2月	男女計 (万人)		男		女	
	実数	対前年同月増減	実数	対前年同月増減	実数	対前年同月増減
総数	177	3	99	-6	78	9
15～24歳	23	-3	13	-1	10	-2
25～34歳	39	-1	19	-6	20	5
35～44歳	31	4	14	0	17	4
45～54歳	35	3	20	2	15	1
55～64歳	32	2	21	1	11	0
65歳以上	17	-1	13	-1	4	0
(再掲)55～59歳	18	3	10	1	8	2
(再掲)60～64歳	14	-1	11	1	4	-1

Ⅲ 季節調整値でみた結果の概要

1 就業者(季節調整値)

- ・就業者数は6783万人。前月に比べ22万人(0.3%)の増加
- ・雇用者数は6115万人。前月に比べ17万人(0.3%)の増加

2 完全失業者(季節調整値)

- ・完全失業者数は182万人。前月に比べ12万人(7.1%)の増加
- ・内訳をみると、
「非自発的な離職」は8万人(22.2%)の増加。
「新たに求職」は3万人(6.5%)の増加。
「自発的な離職(自己都合)」は2万人(2.7%)の増加

注)「非自発的な離職」は、「定年又は雇用契約の満了」及び「勤め先や事業の都合」により離職した者である。
「新たに求職」は、「学卒未就職」、「収入を得る必要が生じたから」及び「その他」の理由により新たに仕事を探し始めた者である。

3 完全失業率(季節調整値)

- ・完全失業率は2.6%。前月に比べ0.2ポイントの上昇(男女別)
- ・男性は2.7%と、前月に比べ0.2ポイントの上昇
- ・女性は2.6%と、前月に比べ0.3ポイントの上昇

4 非労働力人口(季節調整値)

- ・非労働力人口は4028万人。前月に比べ24万人(0.6%)の減少

表6 主要項目の季節調整値

季節調整値	実数	(万人、%、ポイント)			
		対前月増減			
		2月	1月	12月	11月
就業者	6783	22	-3	-8	17
男	3705	9	6	-8	-3
女	3079	12	-6	0	20
うち雇用者	6115	17	-5	11	18
男	3298	11	1	1	1
女	2818	6	-4	10	16
正規の職員・従業員	3642	11	13	-4	11
非正規の職員・従業員	2146	5	-7	13	5
完全失業者	182	12	-2	-5	1
男	101	5	-9	2	4
女	81	8	6	-8	-2
非自発的な離職	44	8	-3	-5	5
自発的な離職(自己都合)	77	2	-1	0	-2
新たに求職	49	3	2	-2	1
完全失業率	2.6	0.2	-0.1	0.0	0.0
男	2.7	0.2	-0.3	0.1	0.1
女	2.6	0.3	0.2	-0.3	-0.1
非労働力人口	4028	-24	-2	5	-24
男	1507	-8	1	3	-4
女	2522	-16	-3	3	-20

注)季節調整値の算出に当たっては、項目ごとに季節調整を行っているため、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない(加法整合性は成立しない)。

図9 就業者数(季節調整値)の推移

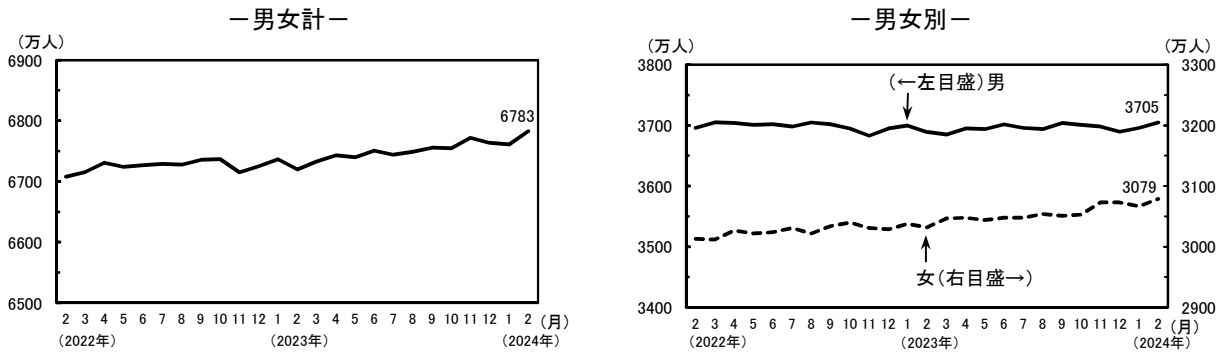


図10 完全失業率(季節調整値)の推移

